



令和6年度 当初予算案における主要施策について

荻田町

物価高騰やデジタル化（DX）等の様々な社会情勢の変化に対応しながら、第5次苅田町総合計画に掲げた将来都市像を実現するため、以下の6本を柱として、令和6年度の予算編成を行いました。

I 次世代を担う子どもたちへの投資

物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯を支援するため、給食費を1年間無償化します。また、教育現場における学習支援ソフトの拡充や老朽化する学校施設の改修により、教育環境を整備します。

II デジタル化（DX）の推進

地方公共団体情報システムの標準化に対応する等、庁内のデジタル環境整備を進めます。また、LINE公式アカウントを活用した新サービスの提供を開始する等、DXによる業務の効率化を図ります。

III 健やかな地域社会の実現

「子ども家庭センター」の設置や「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」等、地域福祉の充実を図ります。また、がん検診予約方法の変更による利便性の向上等、健康づくりを推進します。

IV 安心安全なまちづくりの推進

次世代自動車購入補助事業を引き続き実施する等して、環境保護・エネルギー対策を進めます。また、消防団格納庫の改修や防災情報マップの改訂等、防災・安全対策も進めていきます。

V 快適な都市基盤の整備

新庁舎建設基本構想・基本計画の策定等、公共施設の整備を進めます。また、住環境を快適にするため、道路橋りょう・公園の整備に加え、小波瀬西工大前駅周辺の整備も進めていきます。

VI 活力ある産業・観光の振興

農地保全、生産意欲向上の取組みを継続して実施し、産業基盤の強化を図ります。また、町内のにぎわい創出のため、北九州空港の見える「(仮称)臨空産業公園」の整備を進めます。

令和6年度予算提案額の概要及び財政状況

令和6年度の苅田町一般会計予算額は165億1,705万3千円となりました。
 特別会計の予算総額は81億9,757万6千円となりました。

単位：千円

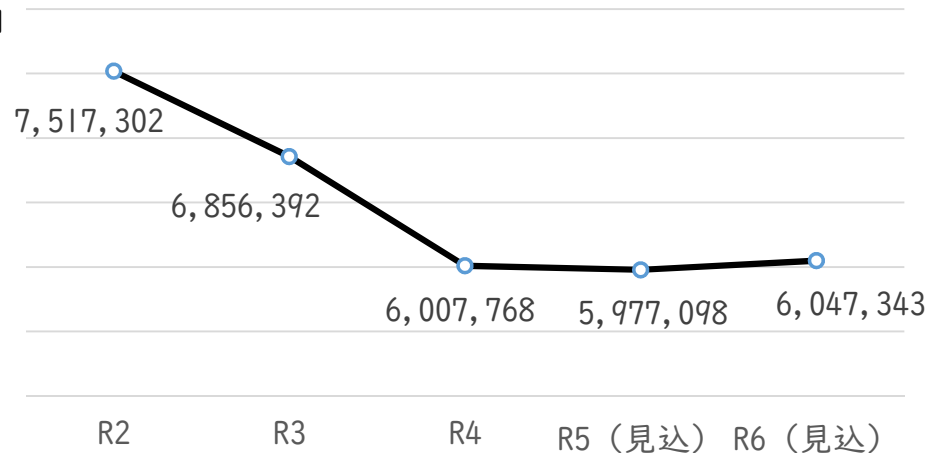
	令和6年度	令和5年度	増	減	備考
				伸び率 (%)	
一般会計	16,517,053	15,428,263	1,088,790	7.1	会計年度任用職員増額分 +約1億1千8百万円 苅田中学校長寿命化改修 +約2億1千4百万円
特別会計	8,197,576	7,887,540	310,036	3.9	土地区画整理事業特別会計+約2億5千3百万円
合計	24,714,629	23,315,803	1,398,826	6.0	

●一般会計地方債残高見込

単位：千円

	R2	R3	R4	R5 (見込)	R6 (見込)
地方債残高	7,517,302	6,856,392	6,007,768	5,977,098	6,047,343

単位：千円



令和6年度末の地方債残高見込額は6,047,343千円となりました。
 現在、地方債残高の減少に努めており、令和5年度までは減少が続く見込みですが、老朽化した施設の大規模改修の実施等に伴い、令和6年度からは、増加に転じる見込みとなっています。
 世代間の負担の公平を図りつつ、過度に地方債に依存しない財政運営に努めます。

令和6年度予算提案額の概要（一般会計・歳入）

単位：千円

項目	令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)	構成比 (%)
町税	8,772,684	8,614,374	158,310	1.8	53.1
うち町民税（個人）	1,646,651	1,814,893	▲168,242	▲9.3	-
うち町民税（法人）	517,263	501,762	15,501	3.1	-
うち固定資産税	6,086,108	5,775,517	310,591	5.4	-
うち軽自動車税	119,895	118,958	937	0.8	-
地方譲与税	234,917	209,205	25,712	12.3	1.4
交付金等（3款～11款）	1,576,612	1,386,868	189,744	13.7	9.5
分担金及び負担金	100,267	93,126	7,141	7.7	0.6
使用料及び手数料	158,561	158,092	469	0.3	1.0
国庫支出金	2,408,768	2,184,684	224,084	10.3	14.6
県支出金	1,296,024	1,247,088	48,936	3.9	7.9
財産収入	9,342	8,999	343	3.8	0.1
寄附金	90,000	80,000	10,000	12.5	0.5
繰入金	652,034	401,916	250,118	62.2	4.0
町債	982,100	766,000	216,100	28.2	5.9
その他（諸収入、繰越金）	235,744	277,911	▲42,167	▲15.1	1.4
合計	16,517,053	15,428,263	1,088,790	7.1	100

歳入

【歳入】

町民税のうち、個人住民税については、令和6年6月実施予定の住民税定額減税による減額を見込んでおります。

固定資産税については、企業等の設備投資分の増額を見込んでいます。

地方譲与税については、令和5年度の実績見込み等から前年度当初予算に比べ増額を見込んでいます。

交付金等については、住民税定額減税分が地方特例交付金として交付されることによる増額を見込んでいます。

国庫支出金については、学校施設や公園、町営住宅の改修事業費の増に伴う補助金等の増額を見込んでいます。

繰入金については、会計年度任用職員の人件費増分や給食費無償化の財源として財政調整基金を繰り入れること等により増額となっています。

町債については、総合体育館改修や荻田中学校長寿命化改修等、大型の改修事業の実施に伴い、増額となっています。

令和6年度予算提案額の概要（一般会計・歳出）

単位：千円

項目		令和6年度	令和5年度	増減	増減率 (%)	構成比 (%)	
歳出 (性質別)	義務的 経費	人件費	3,129,079	2,949,943	179,136	6.1	19.0
		社会保障費（扶助費）	3,680,346	3,534,460	145,886	4.1	22.3
		公債費	944,153	1,018,758	▲74,605	▲7.3	5.7
	投資的 経費	普通建設事業費	1,965,912	1,600,052	365,860	22.9	11.9
		災害復旧事業費	3,850	2,450	1,400	57.1	0.0
	物件費	3,710,252	3,396,712	313,540	9.2	22.5	
	補助費等	1,206,227	1,151,271	54,956	4.8	7.3	
	繰出金	1,621,755	1,557,931	63,824	4.1	9.8	
	その他	255,479	216,686	38,793	17.9	1.5	
	合計		16,517,053	15,428,263	1,088,790	7.1	100
歳出 (目的別)	総務費	1,932,623	1,812,082	120,541	6.7	11.7	
	民生費	5,579,156	5,411,128	168,028	3.1	33.8	
	衛生費	1,853,717	1,786,357	67,360	3.8	11.2	
	農林水産業費	335,829	320,746	15,083	4.7	2.0	
	商工費	123,012	103,772	19,240	18.5	0.8	
	土木費	1,969,960	1,409,190	560,770	39.8	11.9	
	消防費	535,504	620,710	▲85,206	▲13.7	3.3	
	教育費	2,960,766	2,676,869	283,897	10.6	17.9	
	公債費	944,153	1,018,758	▲74,605	▲7.3	5.7	
	その他	282,333	268,651	13,682	5.1	1.7	
合計		16,517,053	15,428,263	1,088,790	7.1	100	

【歳出】性質別

義務的経費では、会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始等により、人件費が増加しています。

投資的経費では、学校施設や公園、町営住宅の改修事業費の増により、普通建設事業費が増加しています。

物件費は、荇田中学校仮設校舎借上料やシステム標準化支援業務委託料等により増加しています。

【歳出】目的別

総務費では、システム標準化支援業務委託料等が増加しています。

民生費では、私立保育園委託料や自立支援給付費等が増加しています。

土木費では、公園設備や町営住宅の改修費等が増加しています。

教育費では、荇田中学校長寿命化改修費や幼稚園施設型給付費負担金等が増加しています。

I. 次世代を担う子どもたちへの投資

1. 子育て世帯の支援

(1) 【継続】 給食費無償化 125,200千円（免除となった給食費分の歳入予算額） 学校教育課
（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 44,003千円、財政調整基金繰入金 81,197千円）

物価高騰等が長期化する中で、影響を大きく受けている子育て世帯の負担を軽減するため、引き続き令和6年4月から令和7年3月まで、町内小中学校の児童生徒の「給食費無償化」を実施します。

(2) 【継続】 子ども医療費支給対象の拡大 24,680千円 子育て・健康課
（財政調整基金繰入金 24,680千円）

令和3年度から継続して、感染症の拡大や物価高騰等により様々な影響を受けている子育て世帯を支援するため、令和8年7月まで、子ども医療費支給対象を18歳まで拡大します。

	拡大（令和3年8月から令和8年7月まで）
対象者	<u>18歳</u> に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者



I. 次世代を担う子どもたちへの投資

2. 教育環境整備

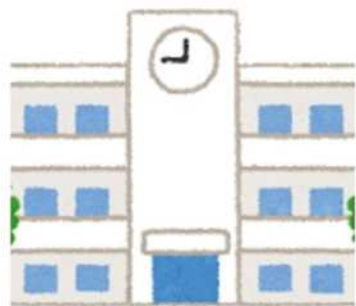
(1) 【拡充】教育現場における学習支援ソフト等の拡充

4,429千円

学校教育課
(国補助 966千円)

小学校6校において、1人1台整備しているタブレット端末にデジタルドリルを導入します。
令和6年度より教科数を2教科（国語、算数）から5教科（国語、算数、理科、社会、英語）と拡充し、
端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実を図ります。

また、中学校2校において、校務用自動採点ソフトを導入します。ソフトを活用することでテストの
採点・集計業務が自動化されます。さらに、採点データが記録されるため、生徒の得意不得意の把握
が適切にでき、効果的な指導に繋がります。



I. 次世代を担う子どもたちへの投資

2. 教育環境整備

(2)【継続】 荻田中学校長寿命化改修事業	330,965千円	学校教育課
(国補助 91,078千円、地方債 133,600千円、公共施設整備基金繰入金 98,631千円)		
	継続費 1,186,400千円 (令和5年度から令和7年度まで)	

昭和50年度に建築した荻田中学校について、荻田町公共施設等総合管理計画及び荻田町学校施設等個別施設計画に基づき、令和5年度から長寿命化改修事業を実施しています。

改修工事中は仮設校舎を利用し、学習が持続できるように配慮します。また、体育館の改修により体育の授業が実施できない期間においては、総合体育館への送迎を予定しています。

事業年度：令和5年度～令和7年度（予定）

(3)【新規】 与原小学校校舎等劣化状況調査業務委託	5,434千円	学校教育課
----------------------------	---------	-------

昭和50年度に建築した与原小学校について、荻田町公共施設等総合管理計画及び荻田町学校施設等個別施設計画に基づき、長寿命化改修を実施するため、劣化状況調査を実施します。

II. デジタル (DX) 化の推進

1. 庁内環境整備

(1) 【新規】 地方公共団体情報システム標準化・共通化対応事業	63,995千円	デジタル推進室 (国補助 61,100千円)
債務負担行為	359,539千円 (令和6年度から令和7年度まで)	

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に従い、令和7年度までに、住民情報系（基幹系）システムを国の標準仕様に適合するシステムへ切り替えるため、既存データの抽出やレイアウト変換、初期クレンジング（不備データ整備及び修正）、データ検証を実施します。

(2) 【継続】 庁内ネットワーク機器更新事業	28,036千円	デジタル推進室
債務負担行為	140,180千円 (令和5年度から令和10年度まで)	

庁内ネットワーク機器の更新に際して、令和7年度までに住民情報系（基幹系）システムのクラウド化が予定されており、長期にわたり安定かつ安全な運用を行う必要があります。

このため、ネットワークの状況を可視化し、障害発生時にも復旧までの時間を極力短くできる仕組みを新たに導入します。

また、職員用のパソコン端末から無線で庁内ネットワークにアクセスできるようになることから、より機動的な打合せや会議が可能になるため、ペーパーレス化を促進し、業務の効率化を図ります。

II. デジタル (DX) 化の推進

2. 業務効率化

(I) 【新規】LINE公式アカウントを活用した新サービス提供

2,300千円

デジタル推進室
 (国補助 1,150千円)

～”必要な情報だけを手元に、災害時の安全確保もサポート”～

荻田町のLINE公式アカウントを活用した新たなシステムを導入します。これにより、町民の皆様に必要な情報だけを効率的にお届けすることが可能となるほか、災害時には、専用メニューから避難所情報や気象情報等、重要な情報を迅速に提供できます。また、町からの情報発信だけでなく、必要としている手続きについても、チャットボットや施設検索、予約機能、マイナンバーカードを使った公的個人認証サービス、オンライン決済等を使い、LINE上で完結することができます。この新しいシステムの導入により、電話や来庁等の手間を省き、行政サービスをより便利にご利用いただけます。

実装予定サービス

- 【セグメント配信サービス】
 - ・利用者が選択したカテゴリーの情報が届く
- 【リッチメニューサービス】
 - ・利用者が視覚的に分かりやすいメニューを作成し、各町のサービスへ誘導する
- 【防災専用メニュー】
 - ・防災専用メニューを表示し、最寄りの避難所検索や利用者が容易に災害情報を入手できる。
 - ・避難する際に、避難者情報を事前に入力し、避難所にてQRコードを読み取るだけで受付ができる。
- 【通報、電子申請機能】
 - ・公共インフラの破損個所を通報できる
 - ・証明書の発行申請等を公的個人認証サービスとキャッシュレス決済を利用することで、来庁不要で申請できる



II. デジタル (DX) 化の推進

2. 業務効率化

(2) 【新規】 電子入札システムの導入

766千円

財政課

令和6年4月から契約事務における電子入札を開始します。従来、入札会場での入札業者の立会いが必須となっておりましたが、電子入札を導入することで、入札業者は時間帯や場所に制限されることなく入札に参加することができます。また、入札結果の確認や検索が電子化されることで契約事務の効率化を図ります。

【現行】 入札日時例：5月1日15時

入札時に、必ず、入札会場にいないければ
ならない

→出張やその他の業務が行えない



【導入後】 入札日時例：5月1日15時

入札期日までに、オンラインでの入札参加
が可能

→当日は会社や出張先からでも結果確認、
再入札参加が可能



※荻田町が実施する入札工事において、
設計金額1,000万円以上（土木一式・建築一式）を対象に実施します。
利用状況を踏まえ、対象の拡大を検討します。

II. デジタル (DX) 化の推進

2. 業務効率化

(3) 【継続】 町の独自データを組み合わせた文章生成AIの活用

2,860千円

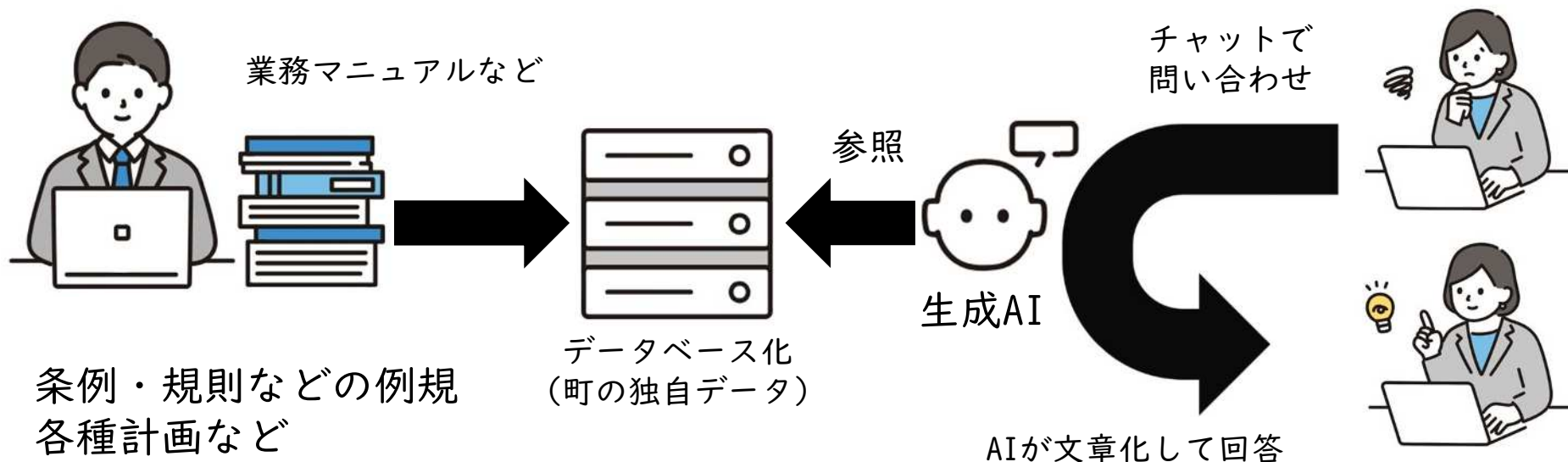
デジタル推進室

【AI導入で業務効率化へ！職員のための文章生成AIサービス環境整備】

～生成AIを活用した業務支援、町役場での取り組み開始～

職員の業務効率を高めるための一環として、文章生成AIサービスの利用環境の拡充をします。昨年実施された実証実験では、文章の要約や校正、推敲、広報誌の原稿作成、アイデア創出、アンケート分析、FAQ作成、さらにはエクセル関数やマクロ作成など、多様な業務でAIの有用性を確認しました。この結果を受け、希望する職員全員が生成AIを利用できるようにします。

今後は独自データを組み合わせることで、情報の正確性を一層高めると共に、業務マニュアルを活用した問い合わせ対応の自動化などを目指す実証実験を行う予定です。この革新的な技術を導入することで、職員の負担軽減とサービスの質の向上を図り、効率的な町政運営を推進していきます。



※この文章は生成AIが作成し、職員が編集しました。

II. デジタル (DX) 化の推進

2. 業務効率化

(4) 【新規】 学校・保護者間メール配信システムの導入

1,190千円

学校教育課
(国補助 594千円)

全小中学校における学校・保護者間の双方向型の連絡手段として、メール配信システムを導入します。

多言語対応が可能なメール配信機能のほか、アンケート機能や欠席・遅刻連絡機能、文書添付機能等を活用することで、保護者の利便性の向上と併せて校務の効率化やペーパーレス化に繋がります。

また、教育委員会から不審者情報を含む緊急情報・緊急連絡を迅速に配信することにより、子どもたちの安全確保に繋がります。



Ⅲ. 健やかな地域社会の実現

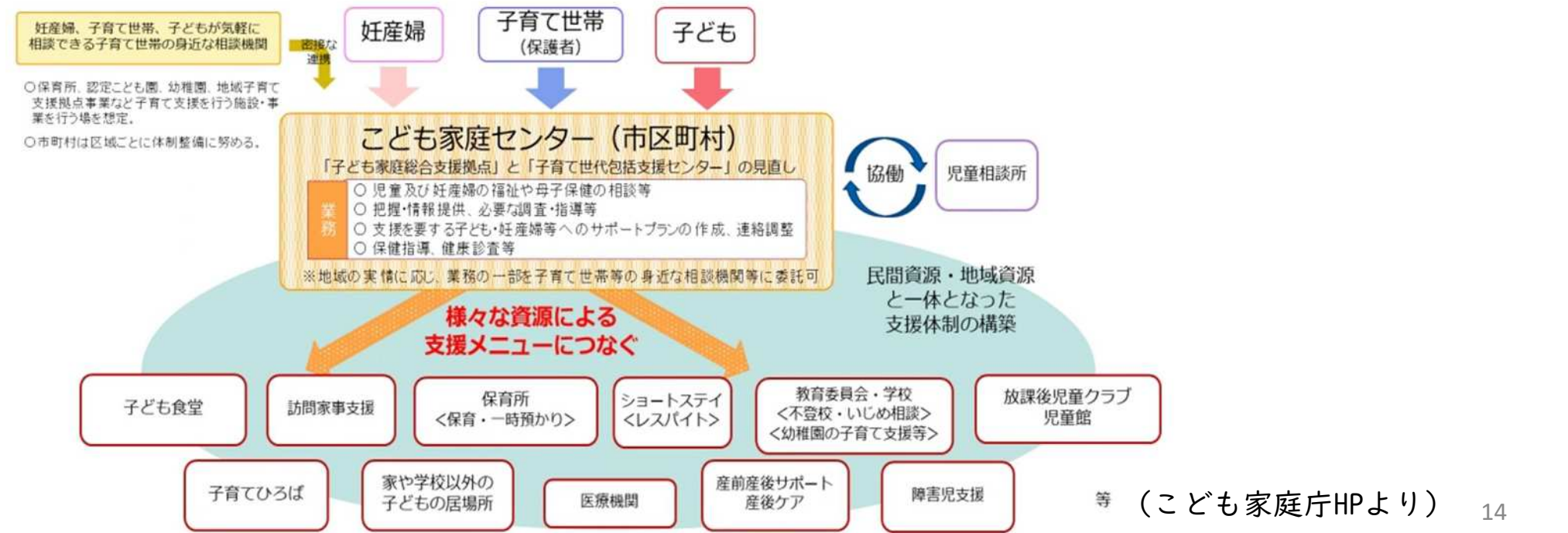
1. 地域福祉の充実

(1)【新規】こども家庭センターの設置	8,058千円	子育て・健康課 (国補助 4,029千円)
----------------------------	----------------	----------------------------------

従来の「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として、パンジープラザ内に「こども家庭センター」を設置します。

新規事業として、「児童虐待・DV対策等総合支援事業」における「要保護児童等に関する情報共有システム」となる専門的な児童相談システムを導入します。

また、家庭や学校の現場にソーシャルワークの専門性を十分に身に付けた人材を新たに配置し、保護者及び児童の相談にのり、その中で虐待やヤングケアラーの早期発見に努め、庁内の各部署や各関係機関、児童相談所と連携し、家庭への支援を行います。



Ⅲ. 健やかな地域社会の実現

1. 地域福祉の充実

(2) 【新規】 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施 5,086千円 子育て・健康課
(福岡県後期高齢者医療広域連合より諸収入 4,000千円)

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、高齢者の保健事業を国民健康保険保健事業及び介護予防の取組と一体的に実施します。

事業の目的	高齢者が地域で健康的な生活を送れるように、高齢者の健康の保持増進及び健康寿命の延伸を目指します。
事業の概要	①医療専門職が、低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防を行うための訪問相談、適正受診等の促進のための訪問指導、健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援を実施します。 ②通いの場において、地域の健康課題をもとにフレイル予防などの健康教育、健康相談を実施します。

※フレイル：健康な状態と要介護状態の中間の段階

(3) 【新規】 障がい者自動車運転免許取得費助成（地域生活支援事業） 100千円 福祉課

障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成します。

Ⅲ. 健やかな地域社会の実現

2. 健康づくりの推進

(1) 【拡充】 高齢者定期予防接種委託（高齢者コロナワクチン分） 15,000千円 子育て・健康課

新型コロナウイルスが定期接種として実施されることに伴い、65歳以上の高齢者とともに、比較的疾患負担の高い60歳から64歳までを対象として、接種費用の一部を公費負担します。



(2) 【新規】 がん検診予約受付業務委託 9,506千円 子育て・健康課
(国補助 1,650千円)

これまで紙の申込書のみで予約を受け付けていたがん検診について、WEB予約システムの構築及び電話予約業務の委託により、町民の利便性の向上と業務の効率化を図ります。



IV. 安心安全なまちづくりの推進

1. 環境保護・エネルギー対策

(1) 【継続】次世代自動車購入補助事業

6,500千円
(まちづくり基金繰入金 6,500千円) 環境課

脱炭素社会への転換を推進することを目的として、次世代自動車を購入する方に対し、購入費補助金を令和4年度に引き続き実施します。

令和4年度： 8,456千円（決算額） 補助台数 58台（電気自動車 54台、PHEV 4台）
令和5年度： 15,000千円（予算額） 補助台数 66台（電気自動車 60台、PHEV 6台）※R6.2.14現在
令和6年度： 6,500千円（予算額）

(2) 【新規】し尿・浄化槽汚泥受入施設の運営等に関する負担金

59,709千円 環境課

一般会計で支出していた荇田町清掃事務所第二工場（し尿処理施設・昭和55年3月竣工）でのし尿処理について、浄化センターで処理することに伴い、同センターを運営する荇田町下水道事業会計に対し、負担金を支出します。

試行運用予定：令和6年11月以降

IV. 安心安全なまちづくりの推進

1. 環境保護・エネルギー対策

(3) 【継続】再エネ推進補助金

10,140千円

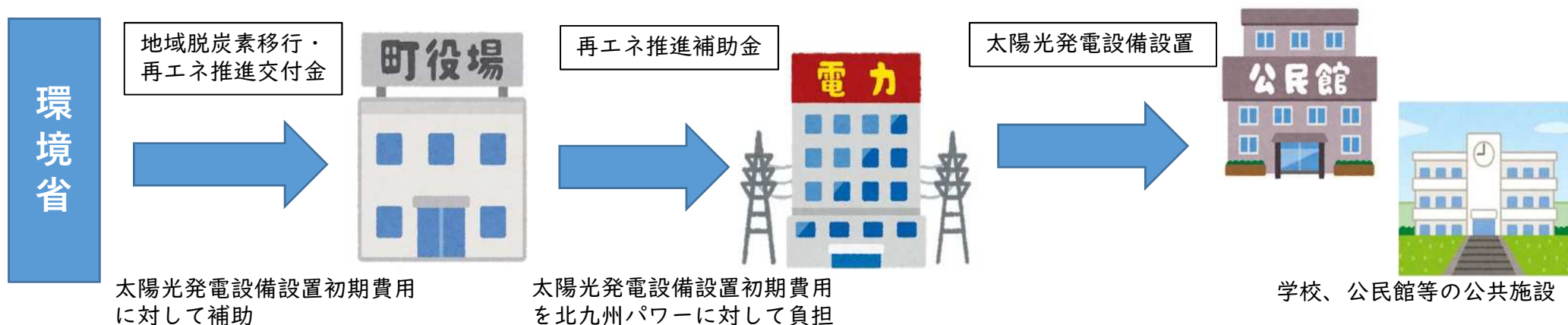
企画課

(国補助 10,140千円)

環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、脱炭素化社会の実現に向け、町内の公共施設に太陽光発電設備を設置します。

令和5年度設置施設：総合福社会館、新津中学校（令和6年度に設置完了予定）

令和6年度設置施設：二崎浄水場



IV. 安心安全なまちづくりの推進

2. 防災・安全対策

(1) 【継続】消防団格納庫改修工事

26,180千円
 (公共施設整備基金繰入金 26,180千円) 消防本部

老朽化によるコンクリートの剥離や亀裂箇所からの雨漏りのある消防団の格納庫について、令和6年度より、順次、改修工事を実施します。

令和6年度：第2・3・5分団

令和7年度：第1・4分団（予定）

消防団格納庫一覧表

改修年度	分団名	所在地	構造/階数	面積	建築年月日	経過年数 R5.9現在
R7	第1分団	神田町2-31-7	RC/1階	50.00㎡	昭和63年2月10日	35年
R6	第2分団	京町1丁目13-12	RC/1階	45.50㎡	昭和58年3月20日	40年
R6	第3分団	富久町2丁目22-2	RC/1階	50.00㎡	昭和62年3月20日	36年
R7	第4分団	与原3丁目3-10	RC/1階	52.50㎡	昭和58年3月20日	40年
R6	第5分団	大字上片島1323-5	RC/1階	50.00㎡	昭和61年3月30日	38年
対象外	第6分団	大字鋤崎479-3	RC/1階	88.00㎡	平成19年8月24日	16年



IV. 安心安全なまちづくりの推進

2. 防災・安全対策

(2)【新規】防災情報マップ改訂業務	10,455千円	危機管理室 (国補助 3,607千円)
--------------------	----------	------------------------

毎年、大雨や台風、地震等による災害が全国各地で発生しています。荇田町では、災害が発生しても被害を最小限に抑えるため、住民の皆さまが居住している区域の災害発生リスクを把握し、災害に備えていただくことを目的として、「防災情報マップ」を作成しています。

令和6年度は、福岡県が公表した洪水浸水想定図の最新版を元にハザードマップを改訂するとともに、災害に関する情報の充実を図るため、防災情報を更新し、全戸配布を行います。

(3)【継続】自主防災組織補助金	3,560千円	危機管理室
------------------	---------	-------

災害による被害を軽減するために地域住民が協力して防災活動を行う組織である「自主防災組織」に補助金を交付します。

区分	補助額	R5年度実績 (R6.2.20時点)
新規設立	300千円 (1団体)	—
再調達 (新規設立後8年経過)	100千円 (1団体)	2団体
訓練費補助	限度額 70千円 (1団体)	9団体

IV. 安心安全なまちづくりの推進

2. 防災・安全対策

(4)【継続】災害用備蓄品 避難所用備品（自動ラップ式トイレ等）	900千円 372千円	危機管理室
-------------------------------------	----------------	-------

荻田町では、災害発生に備え、備蓄倉庫に保管している食料、飲料水をローリングストック方式で随時入れ替えを行っているため、令和6年度に必要な備蓄品を買い足します。

また、新たに、避難所用に自動ラップ式トイレ、トイレ用テント、災害用マンホールトイレ様式等を整備します。

※自動ラップ式トイレ：水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回ごとにラップ（個包装）して密封するポータブルトイレ。

※災害用マンホールトイレ：マンホールの蓋を開けてその上に設置する簡易なもの。避難所の敷地内での使用を想定。



（自動ラップ式トイレ）



（トイレ用テント）



（災害用マンホールトイレ）

V. 快適な都市基盤の整備

1. 公共施設整備

(1) 【継続】新庁舎建設基本構想・基本計画策定

17,529千円

施設管理室

令和5年度では、町民等の意見を調査、検討し、基本構想を策定中です。その中では、現在、「みんなの安全・安心と心豊かな暮らしを支えつづけるスマート庁舎」という新庁舎整備の基本理念や、新庁舎の建設位置を「現庁舎敷地」とすることをまとめています。その基本構想に基づき、令和6年度では新庁舎に必要な機能、規模、整備手法等をまとめた基本計画を策定します。

(2) 【新規】中央公民館大規模改修工事基本計画

19,327千円

生涯学習課

(公共施設整備基金繰入金 19,327千円)

昭和54年度に建築した中央公民館について、荇田町公共施設等総合管理計画及び荇田町公共施設個別施設計画に基づく大規模改修を実施するため、改修工事の基本計画を策定します。

具体的には、利用者の安全性・利便性・満足度の向上を図るため、大ホールの非構造部材の耐震改修に加え、舞台機構設備や舞台音響設備、舞台照明設備等の改修を行います。

V. 快適な都市基盤の整備

2. 道路橋りょう・公園整備

(1) 【継続】南原殿川線道路改良事業

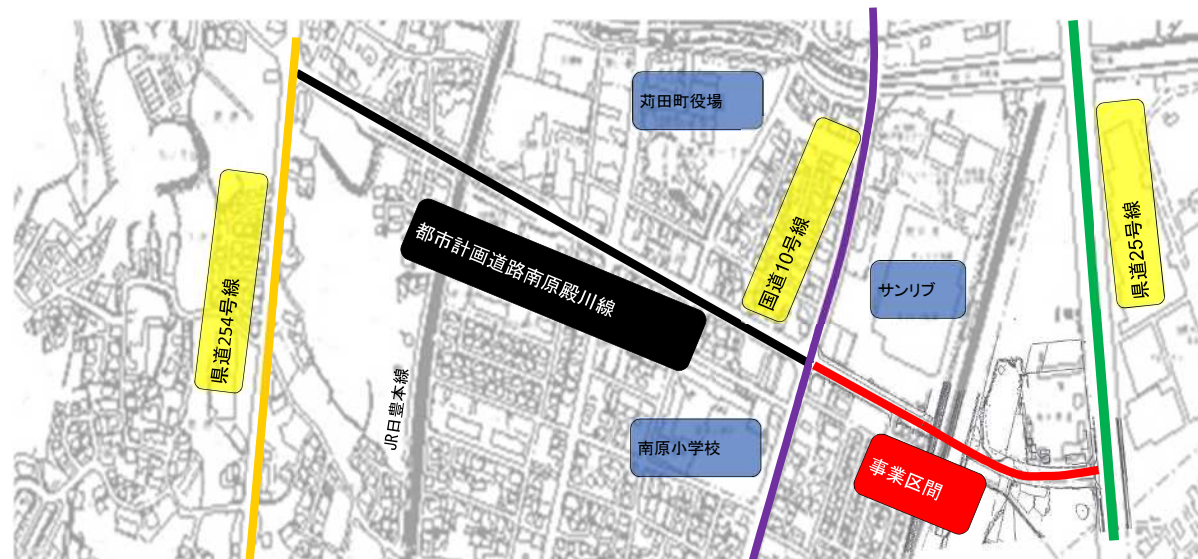
172,100千円

都市計画課

(国補助 63,250千円、地方債 94,900千円)

都市計画道路南原殿川線の国道10号線から県道門司行橋線までを接続する工事を実施しています。本事業により苅田町を縦断する3本の緊急輸送路である県道須磨園南原曾根線、国道10号線、県道門司行橋線がつながり、緊急輸送路へのアクセス性が向上することから、災害時の安全な輸送路を確保すると共に、機能的な幹線道路のネットワーク形成に伴う周辺地域を含めた交通の円滑化に寄与します。

令和7年度末（令和8年3月末）の完成に向けて整備中です。



V. 快適な都市基盤の整備

2. 道路橋りょう・公園整備

(2) 【継続】公園設備新設改良工事、調査・設計委託

175,288千円

都市計画課

(国補助 56,651千円、地方債92,700千円)

(主なもの)

向山公園改築実施設計 39,074千円

向山公園にある遊具の老朽化に伴い、再整備のための実施設計をします。

大熊公園遊具広場整備工事 74,380千円

大熊公園休養施設他整備工事 9,449千円

大熊公園遊具広場にある遊具の老朽化に伴い、再整備のための工事を実施します。また、併せて休養施設等(園路の周りのベンチや健康遊具の一部)を更新します。

※向山公園と大熊公園については、再整備にあたって、令和5年度に町民参加型のワークショップ(各全2回)を開催しました。ワークショップの結果を踏まえ、利用者の方の意見を反映した整備を進めていきます。



(ワークショップの様子)

V. 快適な都市基盤の整備

2. 道路橋りょう・公園整備

(3) 【新規】JR橋りょう補修工事委託

73,000千円

建設課

(国補助 34,100千円、地方債 25,100千円)

債務負担行為 93,000千円 (令和6年度から令和7年度まで)

老朽化した桜ヶ丘歩道橋の補修工事をJRに委託し長寿命化を図ります。
 事業年度 令和6、7年度 (予算総額166,000千円)

主な工事概要

- 橋台、橋脚の補修
- 通路部の補修
- 塗装塗替
- 等

↑至北九州



↓至行橋



<撮影方向>
 小波瀬西工大前駅方面から荇田駅方面



主桁の腐食状況



通路部の腐食状況

V. 快適な都市基盤の整備

3. 駅周辺環境整備

(1) 【継続】 小波瀬西工大前駅周辺整備計画調査業務委託

11,000千円

都市計画課

小波瀬西工大前駅周辺エリアの交通環境の改善と鉄道施設のバリアフリー整備を合わせた駅周辺整備事業の実現に向け、鉄道事業者と連携しながら鉄道施設、駅関連施設（自由通路、駅前広場など）、周辺道路などの調査・計画業務を令和5年度から2カ年にわたり実施しています。



※詳細については別紙

小波瀬西工大前駅周辺整備計画調査業務委託料について

小波瀬西工大前駅周辺エリアについて、駅などの鉄道施設の整備と連携した効果的な整備を目指し、JR九州と相互に調整を図りながら計画調査を行います。

業務期間：令和5～6年度（予定）

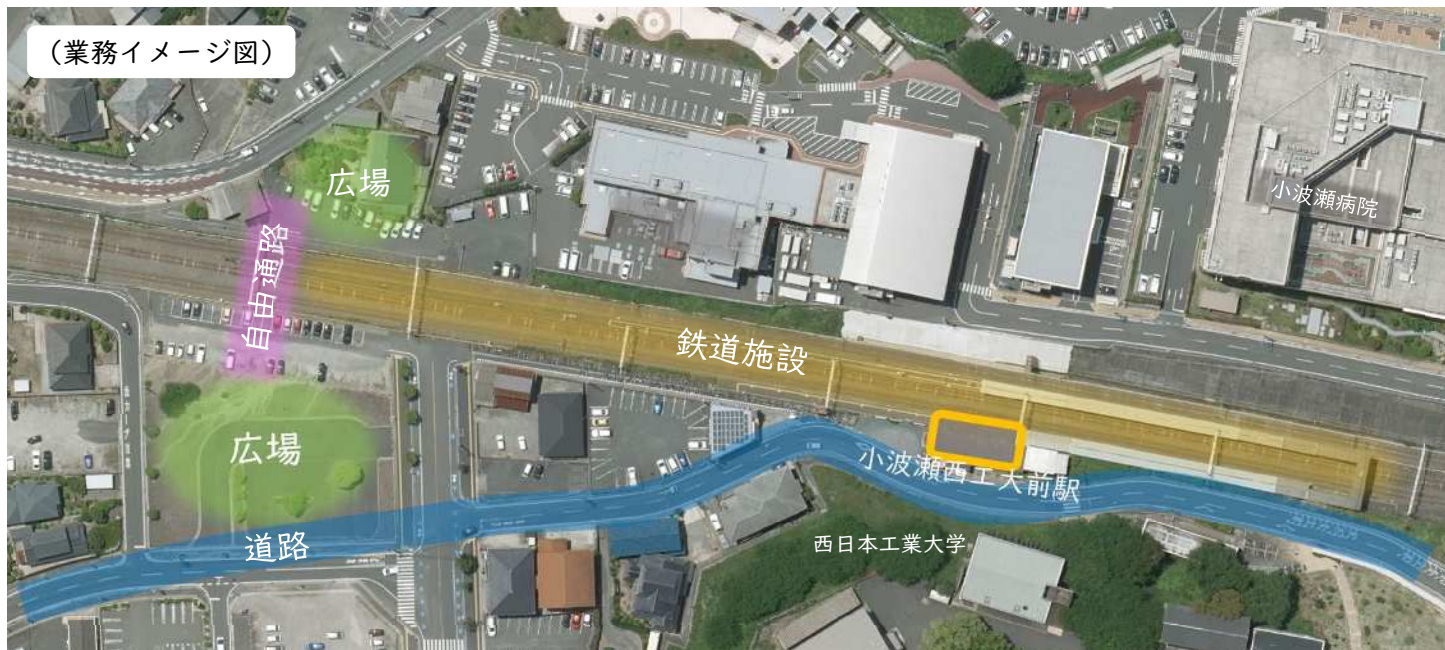
地形や構造物の現状を把握し、計画調査の実現性を高めるため、周辺エリアの測量を行います。

鉄道施設の整備について、以下を基本とした方向性を調査し、概略の計画を行います。

- 駅舎と周辺設備の最適化
- 駅構内へのエレベータ設置などのバリアフリー化
- 駅構内歩行環境の改善

駅など鉄道施設の計画に対応し、互いの関係性を考慮しながら、周辺施設の整備の検討を行います。

- 駅構内へのアクセス性を高める自由通路
- 東西地域の往来や駅へのアクセスを円滑にするエレベータの設置
- 交通結節機能を備えた東西の駅前広場
- 駅周辺道路の安全性の向上



VI. 活力ある産業・観光の振興

1. 産業基盤強化

(1) 【継続】 農地保全、生産意欲向上の取組み

11,472千円

農政課

後継者不足等により離農者が増加している中で、農作業の効率化や遊休農地再生を支援し、多様な担い手を育成することで、農地の荒廃化を防ぎ、健全な農地の維持、生産意欲の向上に繋がる取組みを行います。

○農地流動化促進事業 4,272千円

農地の荒廃化を防ぐため担い手農家等が利用権を設定した場合に補助金を交付します。

【要件】 5年以上の利用権を設定し、設定期間中は耕作をすること

【対象】 担い手農家等が農業振興地域内にある農地に利用権を設定した場合

【補助額】 新規で利用権を設定する場合 1,000平方メートルあたり20,000円

更新で利用権を設定する場合 1,000平方メートルあたり 5,000円

○遊休農地解消支援事業 1,200千円

遊休農地の解消を目指し、遊休農地の再生作業（障害物除去、伐根、整地等）に係る経費の一部を補助します。

【要件】 遊休農地に対し農業経営基盤強化促進法等による利用権を3年以上設定

【対象】 農業振興地域内にある遊休農地の再生作業に係る経費（売買により取得した土地も対象）

【補助額】 1,000平方メートルあたり30,000円

○農作業省力化支援事業 6,000千円

農作業の効率化及び省力化を支援するため農業用機械の導入経費の一部を補助します。

【要件】 新規機械の導入（中古品は対象外）

【対象】 省力化、効率化が見込まれると判断される農業用トラクタ、田植え機、コンバイン、農業用ドローン等農業用機械や付属品

【補助率】 3/10（20万円以上、消費税を除く）補助上限額：60万円

VI. 活力ある産業・観光の振興

2. 町内のにぎわい創出

(1) 【継続】 臨空産業公園設計業務委託

35,377千円
(宿泊税交付金基金繰入金 25,014千円) 交通商工課

福岡県宿泊税交付金を活用して空港の見える公園「(仮称)臨空産業公園」を新たな観光スポットとして整備し、誘客の促進を図ります。
令和6年度は測量・調査・設計業務を行います。



【事業スキーム】

- R5 : 基本構想策定、敷地整備工事
- R6 : 測量・調査・設計
- R7~ : 工事(予定)

